

## くらしの安心・安全対策

★防災基本条例・地域強靱化計画を策定し、災害に強いまちを目指します

885万円

★上戸田川の改修やさくら川の整備などを行い、浸水被害対策を推進します

5億1,867万円

★荒川氾濫を想定し、市内全域を対象に一斉水害避難行動訓練を実施します

554万円



▲さらなる安心安全のまちを目指します

★避難所の停電対策として進めている小学校屋内運動場への非常用発電機の整備が完了します

3,319万円

★防犯活動の拠点となる「けやき安全ステーション」を新曽地区に設置します

2,341万円



▲平成31年に閉所となった旧けやき安全ステーション

## 保育園に午睡チェックセンサーを導入

お昼寝をしている児童の呼吸確認を、保育士の確認とで二重に行い、思わぬ事故を防止します

269万円

## セルフ健康チェックサービスを導入

30歳を迎える市民を対象に、スマートフォンと検査キットで、自宅でも血液検査ができるサービスを導入します

109万円

## 新曽地区に青少年の広場を新設

中高生を中心に、ボール遊びなど多目的に利用できる広場を新設します

1,152万円

## 分譲マンションの実態を調査

市内にある分譲マンションの管理不全を防止するため、令和3年度までの2年間で、管理状況や、抱えている問題などを調査します

760万円

3月定例会は2月19日から3月26日までの37日間の会期で開かれ、市長提出議案40件と、委員会提出議案2件、議員提出議案1件が提出され、いずれも可決・同意しました。また、4議案に対し延べ12人が質疑し、議案4件について延べ8人が討論を行いました。

◆一般質問は取りやめに  
新型コロナウイルスの感染拡大を受け、戸田市議会としても、議会運営委員会を開催し、3月定例会における対応を協議しました。一般質問は、議員が市政全般に対して質問ができ、併せて市民からの要望を市に伝えられる貴重な機会であり、様々なご意見をいただいたところですが、しかしながら、他市議会の状況等も踏まえて協議した結果、市民の安心・安全を守るため、執行部が新型コロナウイルス対策に専念できるよう、一般質問を取りやめることを確認しました。その後、本会議において、一般質問の取りやめに伴い、3月5日、6日、9日、10日の本会議を休会することを、全員一致で決定しました。

令和2年  
3月  
定例会  
2月19日～  
3月26日

安心安全なまちづくりを  
大きく前進 令和2年度予算決まる

### 一般会計歳入合計 597億7900万円



① 市税	284億6411万円
② 繰入金	39億2339万円
③ 諸収入	21億0085万円
④ 繰越金	7億5000万円
⑤ その他自主財源	13億7642万円
⑥ 国庫支出金	109億4714万円
⑦ 市債	50億1620万円
⑧ 県支出金	34億2289万円
⑨ 地方消費税交付金	28億円
⑩ その他依存財源	9億7800万円

※千円単位は四捨五入

歳入では、市税（市民税・固定資産税等）が全体の47.6%。その他、繰入金や諸収入を含めると、自主財源は全体の61.3%。また、国・県からの交付金などの依存財源は全体の38.7%。

### 一般会計歳出合計 597億7900万円



① 民生費	269億7474万円
② 教育費	100億0841万円
③ 総務費	74億8674万円
④ 土木費	53億6067万円
⑤ 衛生費	36億5677万円
⑥ 公債費	33億2895万円
⑦ 消防費	17億2715万円
⑧ その他	12億3557万円

※千円単位は四捨五入

歳出では、総務費が前年度比19億9684万円の増。これは、文化会館の改修工事などによるもの。全体の45.1%を占める民生費は前年度比15億399万円の増。